

## 2 地域連携プロジェクト

地域連携  
プロジェクト

=

教員  
プロジェクト

+

学生  
プロジェクト

参加学生総数

243

地域連携プロジェクトには大きく、教員が主導する「教員プロジェクト」と学生団体が主導する「学生プロジェクト」があります。両プロジェクト合わせて、243名の学生が地域連携活動に従事しています。

右図にあるように、多くは学生プロジェクトに所属しており(73.9%), 両プロジェクトに参加する学生も存在します(5.0%)。また、地域連携プロジェクトに参画する学生の入学年度をみると、2023年度入学が最も多いですが(34.9%), 2022年度、2021年度入学の学生も20%後半を占めています。

### 教員プロジェクト

プロジェクト数

7

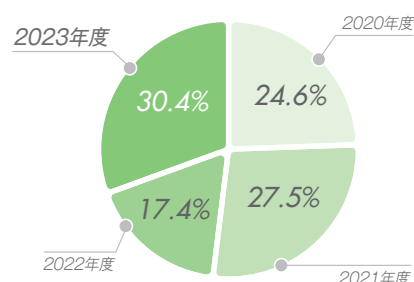
活動のキーワードとしては、建築や地域創生、高齢者、ラオス、里山などがみられ、環境人間学部の多様さが確認されます。主なフィールドは、姫路市近辺の他、淡路島や丹波篠山市といった兵庫県下の他、海外もみられます。

参加学生数

69

参加学生は69名であり、右図にあるように入学年度ごとにみると、2023年度入学(30.4%), 2021年度入学(27.5%)や、2020年度入学(24.6%), が多い傾向がみられます。

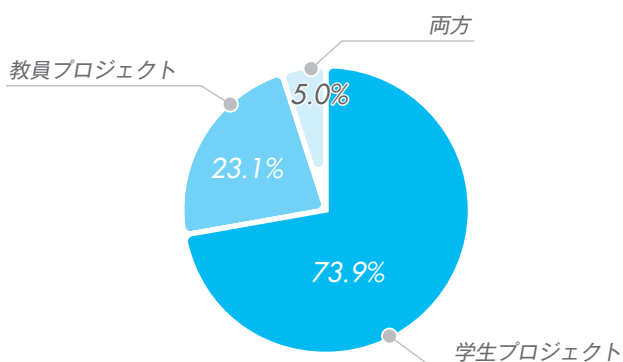
教員プロジェクトにおける  
入学年度ごとの学生数 (n=69)



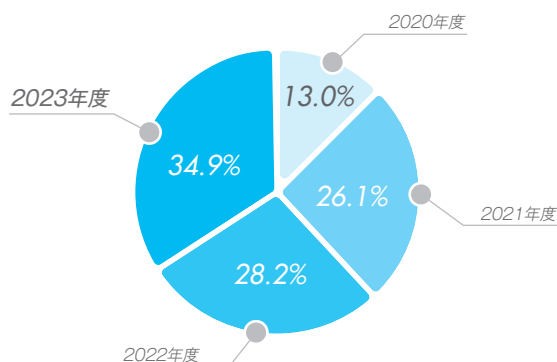
### 教員プロジェクト一覧

プロジェクト名	教員	キーワード	フィールド	メンバー数
淡路島プロジェクト	三田村哲哉	建築、都市、地域	淡路島	4
播磨プランニングラボ	太田尚孝	都市計画、計画演習、自治体連携	高砂市、播磨地域	8
くもべらボ	杉山 武志	地域創生、コミュニティ・カフェ、閉校活用	丹波篠山市	9
北八代プロジェクト	安枝 英俊	集会所、半屋外空間、居場所づくり	姫路市	5
学生島活プロジェクト	太田尚孝	地域創生、空き家再生、インターンシップ	姫路市(家島諸島)	7
CHISE	乾美紀	ラオス山岳地帯、学校建設、教育支援	ラオス	18
ため池みらいプロジェクト	柴崎浩平	水・農業、里山、コミュニティ・ビジネス	東播磨	18
草刈りエクササイズ	森寿仁、柴崎浩平	草刈りエクササイズ	加古川市他	0

所属プロジェクトごとの学生数（人）（n=243）



地域連携プロジェクトにおける  
入学年度ごとの学生数（人）（n=243）



## 学生プロジェクト

プロジェクト数  
(学生団体数)

7

活動内容のキーワードとしては、農業、食、栄養、里山、国内外の子どもなどみられ、環境人間学部の多様さが確認されます。

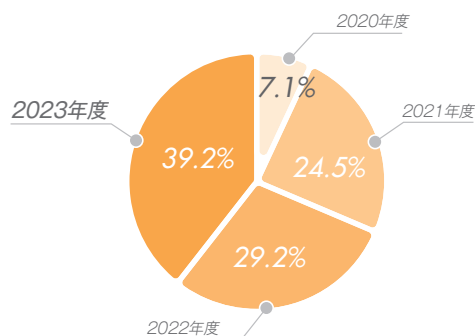
主なフィールドとしては、姫路市の他、明石市や加古川市、高砂市など姫路市から東のエリアが中心となっています。

参加学生数

のべ 212

参加学生はのべ212名であり、右図にあるように入学年度ごとにみると、2023年度入学(39.2%)や、2022年度入学(29.2%)が多い傾向がみられます。

学生プロジェクトにおける  
入学年度ごとの学生数（n=212）



### 学生プロジェクト一覧

団体名	顧問教員	キーワード	フィールド	メンバー数
農楽部 畑っこ	坂本薫	農業, 多世代交流, 地域交流	環境人間キャンパス内の畑	15
campustree	安枝英俊	キャンドル, 地域交流, コミュニケーション	高砂市など	17
Change	三宅康成	子ども, 地域交流, イベント企画	姫路市, 明石市, 高砂市	33
木の子	土川忠浩	里山, 地域, 学生	里山(姫路市香寺町須加院)	21
兵庫商品開発プロジェクトDEN	坂本薫	食, 農, 栄養	学内, 姫路市	71
Conneko -コネコ-	保坂裕子	子ども食堂, 学習支援, ボランティア	明石市, 高砂市, 加古川市	40
Jyoto's	乾美紀	外国ルーツの子ども, 学習支援, 地域ネットワーク	姫路市城東町	15

# 地域連携プロジェクトへのサポート

## ネットワーキング

学生団体間および学内外のネットワークを確保・強化すべく、新入生歓迎会やEHC交流会、EHCランチを学生と企画・実施するとともに、オープンキャンパス等の各種イベントにEHCとして出展いたしました。

## 独自保険制度

多様な地域活動を安全・安心に実施するため、保険体制をみなおし、新たな保険に加入する仕組みを構築しました。

## 春フェスの開催

新入生を地域連携プロジェクトへ歓迎するため、「春フェス」を2日に渡って開催しました。本「春フェス」は、学生が春フェス実行委員を立ち上げ、企画・実施いたしました。当日は、食に関する学生団体による軽食の提供などをおこない、両日共に100名以上の学生が参加しました。



## 外部組織と連携したボランティア活動のプラットフォームづくり

子どもを核としたまちづくりを進める明石市で新たに誕生した「公益財団法人子ども財団」と連携した取り組みをおこなっています。明石市では全28小学校区において、子ども食堂が展開されており、地域のさまざまな方が集まり、子どもたちが地域とつながる居場所づくりがなされています。

「子ども財団」と連携し、学生が子ども食堂等でボランティア活動が展開しやすくなるよう、プラットフォームづくりに取り組んできました。具体的には、学生団体の「conneko-コネコ-」と「Change」が、当プラットフォームを利用し、ボランティア活動に従事しています。



先述のプロジェクトを遂行するとともに、活動しやすい環境を整えるべく、各種サポートをおこないました。

## コンペの開催

地域連携プロジェクトの活動を拡充させるため、コンペティション形式にて活動助成をおこないました。審査の結果、5つの教員・学生プロジェクトを助成しました。

## EHCの開放

EHCを開放し、学生が打ち合わせ等に使用できるよう、開放するようにしました(予約制)。

利用回数  
**153**

## コンペの開催

活動助成の対象として、大きく3つの部門を設けました。EHCではこれまで、①EHC教員プロジェクト部門、②EHC学生プロジェクト部門を設けておりましたが、2023年度からは新たな地域連携活動を生み出すきっかけを作るため、③インキュベーション部門を新設いたしました。採択された地域連携プロジェクトは以下の通りです。各プロジェクトの詳細内容は、本報告書に記載しております。なお、( )内は顧問ないし担当教員を意味します。

### ①EHC教員プロジェクト部門

conneko-コネコ-(保坂裕子)  
畑っこ(坂本薫)



家島プロジェクトの活動の様子

### ②EHC学生プロジェクト部門

CHSIE(乾美紀)  
北八代プロジェクト(安枝英俊)  
家島プロジェクト(太田尚孝)  
播磨プランニングラボ(太田尚孝)  
くもベラボ(杉山 武志)  
ため池みらいプロジェクト(柴崎浩平)



CHSIEの活動の様子

### ③インキュベーション部門

こより(井上靖子)  
御手洗地区のこれからを考える会(宇高雄志)